研究テーマ 知的財産と情報法制（デジタル著作物の権利関係）

所属 学術研究部社会科学系（経済学部）

教授 神山 智美
https://researchmap.jp/researchmap-s-k

研究分野	知的財産権法
キーワード	農業知財、種苗法、デジタル著作物、、AI著作物、DSI（デジタル塩基配列情報）

研究室URL： https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/satomi-kohyama

業績：

(研修講演)神山智美「ものづくりにおける生成AIの活用―著作権、意匠権、商標権」(公社)精密工学会 第436回講習会 2024年5月

・神山智美「デジタル遺伝資源の現在地 合成生物学に係る訴訟の観点から」国際取引法研究１，88-102頁、２０２６年3月.
・神山智美「種子法廃止と米の品種改良の現在を検討する 登録品種の活用度と高温耐性品種への移行」国際取引法研究１、55-72頁、2026年3月.
・神山智美「生成AIは特許出願人にも著作権者にもなれないという米国連邦裁判決（Stephen Thaler事件）を考える」国際商事法務（IBL）53（8）48-82頁 2025年８月.
・KOHYAMA Satomi, Japanese Animation Culture Supported by Fandom: Laws, Internal Riles, and Self-Regulations. 『富大経済論集』 70(2・3) 1-34頁、 2025年2月.
・神山智美「デジタル時代のコンテンツの権利帰属に関する一考察―作画AIからコンテンツ・エコシステムの全貌を捉える」国際取引法学会（9）83-101頁、 2024年3月.
・神山智美「外国判例研究：音楽レーベルがX（旧ツイッター）を著作権侵害で訴え、裁判所が主張の一部を認容した件（Concord Music Grp., Inc. v. X Corp., 2024 U.S. Dist. LEXIS 38239）」国際取引法学会 10 243-253頁、 2025年3月.
・KOHYAMA, S., Do We Need to Introduce Fair Use Regulations in Japan?：The Case of Unique Japanese Entertainment Supported by Examples of Relevant Work（和文タイトル「再考：日本におけるフェア・ユース導入は必要か？」）国際取引法学会8. 279-290頁、2023年3月.
・神山智美「研究ノート 二次的創作やAI著作物の知的財産権を考える~インナールールとクリエイティブ・コモンズ」国際商事法務（IBL）. 51, 56-61頁、2023年1月.
・神山智美「個人情報保護法制における域外適用および個人情報の越境データ移転に係る一考察―米欧中法令の動きを捉えて執行の観点から―」国際取引法学会.7, 21-46頁、2022年3月.
・神山智美『種苗法最前線―バイオ特許からブランド品種保護まで』（文眞堂、2023年） 等

その他：

2021年09月- 国際取引法学会 理事、副会長（2024年3月~）、編集委員長（2023年2月~）、国際知財法制部会長代行（2022年10月~）
2023年04月 - 継続中 （一社）GBLI（Global Business Law Institute：GBL研究会）理事

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/satomi-kohyama/